

---

○議長（土屋清武君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1時00分）

---

◎議案第46号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（土屋清武君） 日程第2、議案第46号 平成29年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（長嶋精一君） 議案第46号 平成29年度賀茂郡松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてでございます。

詳細は担当から申し上げます。

（健康福祉課長 新田徳彦君 提案理由説明）

○議長（土屋清武君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

質疑はありませんか。

○2番（伴 高志君） ちょっと細かいところで、わからないところもありますので、事前に聞くことができなかったところを教えていただけたらというので、詳細のところもありますけれども、4ページ～5ページのところで、他会計繰入金で、これが一般財源から繰入れているというので、これはどういうふうに計算しているのか、簡単に教えていただけますか。

○健康福祉課長（新田徳彦君） 繰入金の他会計繰入金のところでご質問があったかと思いますが、一般会計からの繰入になるわけですが、一般会計からの繰入金につきましては、一応法定内で、一応決まっております、その決まったものを繰入れているというものでございます。

先ほど、一番わかりやすい例でいきますと、出産一時金なんかですと、3分のいくつは一般会計から繰り入れるというような形になっておりますので、決められたものを一般会計から繰り入れるということでございます。

○2番（伴 高志君） それから、もう1点、すみません。基金の繰入の部分ですが、これは、決算の説明書の中でも1300万円の積立をすることができましたということがありました

けれど、これは、その要因について教えていただけますか。

○健康福祉課長（新田徳彦君）　こちらにつきましては、基金から繰入がゼロになっております。裏を返しますと、それだけ財政的に余裕があったものですから、基金からの繰入、基金を取り崩すことがなかったと、逆に余裕があったから、基金に積み立てたということでございます。

これは、主に前期高齢者納付金というのが、20ページ～21ページをご覧くださいますと、6款に前期高齢者交付金というのがあります。これは、2年遅れで精算されてくるお金なんです、こちらに収入済額が3億6965万8353円とありました。

前年度が2億7700万円位で、ここで前年度から比べると9200万円ほど増となってきておりました。これは蓋を開けてみないとわからないものでございまして、これだけのお金が来たものですので、基金を取り崩すこともないと・・・、こんかい余裕財源があった関係で、本年の3月に税率改正をさせてもらって、実質保険料を値下げさせてもらった経過がありますので、そのように財政的にちょっとゆとりがあったものですから、基金からの取崩しはしなかったということでございます。

○議長（土屋清武君）　ほかに質疑はありませんか。

○6番（福本栄一郎君）　教えてもらいたいですが、ページでいきますと、39ページ、委託料、ジェネリック差額通知作成業務委託1万8560円、これはいいですけども、保険給付が、かなり薬も高騰しているからということで、いわゆるジェネリック薬品は選択性になっていますよね。病院なんかで・・・。どうしますか・・・、選択性ということで・・・。

病院関係なんかも特に奨めていませんけれども、本人負担もジェネリックを希望すれば、本人負担も少なくなる。役場自体も国保会計から出費が抑えられるということですけども、その辺のPRというのか・・・、ジェネリックにしてください。あるいは別にいいですよ・・・、その辺の役場の保険会計の方からはどういうふうにPRというか、その辺の考え方を教えてくださいませんか。

○健康福祉課長（新田徳彦君）　いま、現状では、保険証を交付する時に、シールでジェネリックをお願いしますということで、このジェネリックにつきましては、国の方も推奨しております、本来開発元のお薬をいただくとお金がうんとかかるわけですけども、このジェネリックですと、もうある一定の年数が過ぎているということで、非常に安くなるということで、それが、医療費の削減にも繋がっていることから、我われの方もそういった形で奨めているとこ

ろでございます。

○6番（福本栄一郎君） 私も病院にお世話になっているんですが、ドクターの方では特に聞かないですね。どうしますかと・・・、今まで私がかかった病院の範囲内です。

その辺は、松崎町として・・・、賀茂郡下です。1市5町として、いわゆる賀茂医師会ですか、松崎町でいくと松崎町に先生が2人ですけれども、その辺の町村と少なくとも、賀茂郡下1市5町の賀茂医師会とのその辺の話し合いというのは、できているんですか。

なんか、中には知らない人もいるかもわからないですよ。もうちょっと・・・、成分、効能も同じなのに、特許が切れているから、安くなった・・・、その辺の話し合いというんですか、その辺をもう一回教えてくれませんか。

○健康福祉課長（新田徳彦君） 我われの方もお医者さんといろいろ医療関係のことで話し合う場もいくつかあるわけですが、その中で、最近、保険者努力支援ということで、保険者がどれだけ努力しているかということで、交付金が多くなるという制度があるんですけれども、その中でやっぱりジェネリックを使うといいよというようなことがあるものですから、そういった、各保険者からお医者さんの方にもジェネリックを推奨してくださいよということはお話しをしているつもりなんですけれども、実際現場で患者さんを前にどの程度奨めているかというのは、ちょっと我われは把握していないところでございますけれども、極力、そういったジェネリック薬品を使うようにということで、町としても奨めているところでございます。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はございませんか。

（発言する者なし）

○議長（土屋清武君） 質疑がないようですので、質疑を終結したいと思います、これに異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土屋清武君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許可します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土屋清武君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土屋清武君） 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第46号 平成29年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についての件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり認定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

○議長（土屋清武君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり認定されました。

---